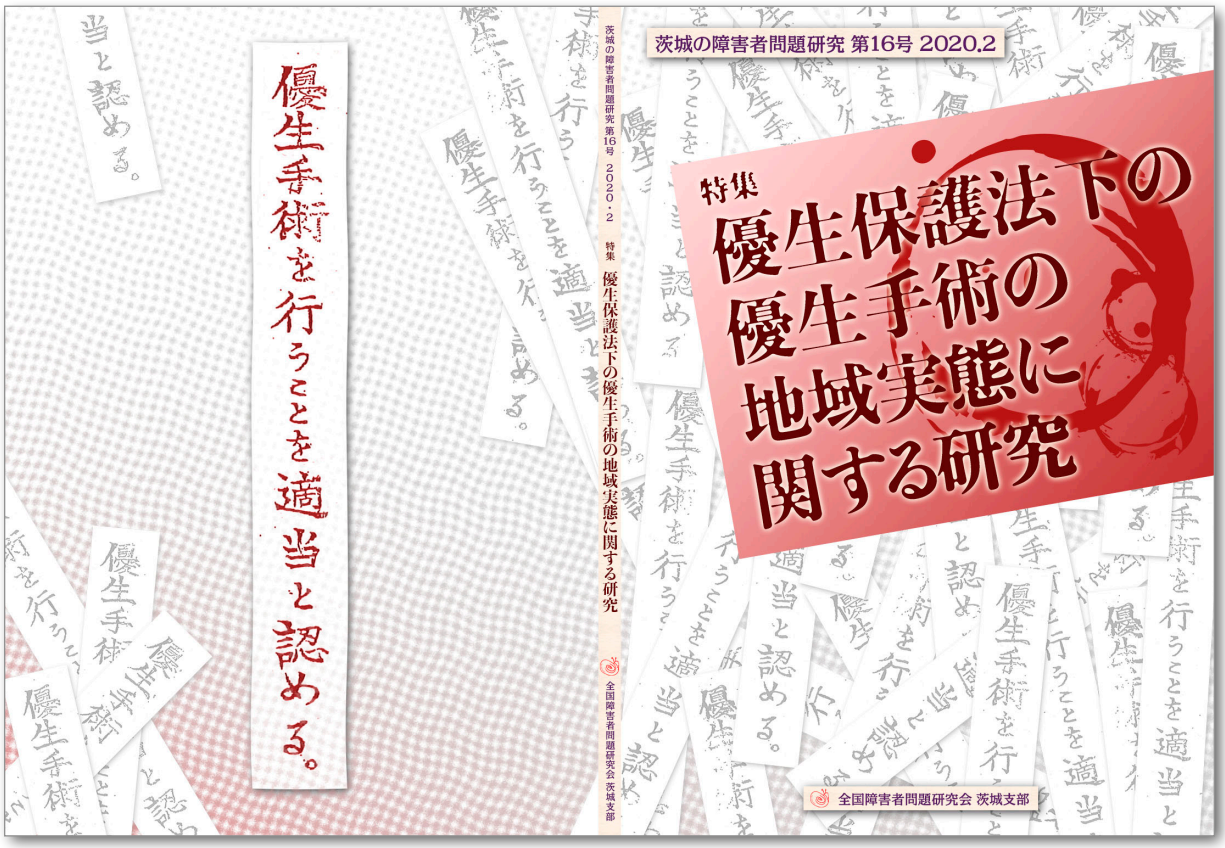
優生保護法下の優生手術の地域実態に関する研究

『茨城の障害者問題研究』第16号　刊行！



全障研茨城支部では、「優生保護法の研究」チーム（代表　船橋秀彦）を作り、2019年度の研究プロジェクトとして「優生保護法の地域実態に関する研究」を進めてきました。この度、研究報告書**『優生保護法下の優生手術の地域実態に関する研究』**（茨城の障害者問題研究第16号　特集　2020年2月）として、冊子にまとめました。

茨城、岐阜、京都、東京、神奈川に開示請求等を行い、優生手術に関する資料を収集し、分析しました。研究としては素人の集まりですが、戦後成立した優生保護法の下、障害者等への優生手術がどのように行われてきたのかを、地域（都府県）ごとに明らかにしようとした試みです。研究内容は、開示資料に制約されていますが、結果200頁を越える冊子となりました。

私たちが生きてきた同時代にあった事実を知る意味でもぜひ、広範なみなさんにお読みいただき、ご批判いただければ幸いです。

なお、参考までに目次を添付いたします。

▶手に入れる方法

1冊1200円でお分けします。ただし、全障研会員は1000円です。

＊送料は別扱いです。1冊の送料は370円（レターパック）です。

ご希望の方は、下記メールアドレスか住所（ハガキ等）にご連絡ください。

船橋秀彦　funabashi@msi.biglobe.ne.jp　　〒309-1626 茨城県笠間市下市毛414